

証券コード 6005

個人投資家向け会社説明会

2022年1月25日

三浦工業株式会社
代表取締役専務執行役員
国内販売統括本部長 武知 教之

熱・水・環境のベストパートナー

MiURA

1	会社概要	3
2	ミウラの強み(ミウラのメンテナンス力)	13
3	成長戦略(カーボンニュートラルに向けた取り組み)	23
4	株主還元	29
5	参考資料	31

注意事項

本資料のうち、今後の計画・見通し等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値とは異なる場合があります。掲載内容には、細心の注意を払っておりますが、掲載された内容に基づいて被った損害については、弊社は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。

1. 会社概要

社名 三浦工業株式会社
 所在地 愛媛県松山市堀江町7番地
 設立 1959年5月
 資本金 95億4,400万円

ミウラグループ°
 (三浦工業含む)
 従業員 国内 10社、海外 17社
 ※ 2021年3月31日現在
 グループ 6,072名
 うち海外 1,826名(30%)

事業内容 機器販売事業/メンテナンス事業
 小型貫流ボイラ・船用補助ボイラ
 排ガス(廃熱)ボイラ・水処理機器・ボイラ用薬品
 食品機器・滅菌器・業務用洗濯機等の
 製造、販売およびメンテナンス

連結売上高 1,347億円(2021年3月期連結)
 営業利益 178億円(13.3%)
 (営業利益率)

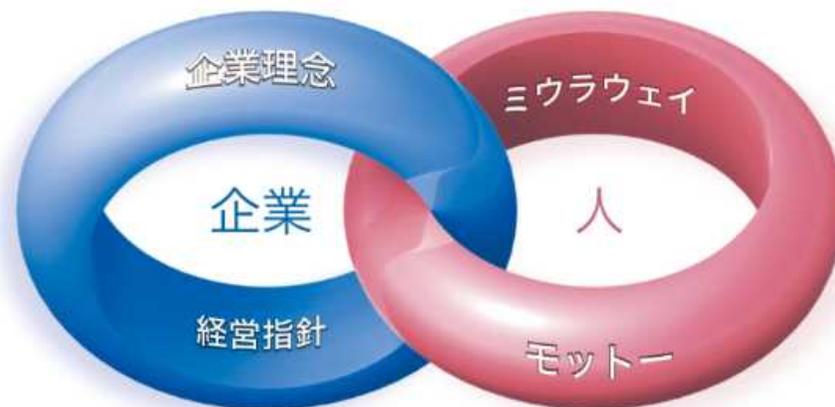
格付情報 発行体格付 A(維持)2021年11月公表
 株式会社格付投資情報センター(R&I)

企業理念

熱・水・環境の分野で、環境に優しい社会、
 きれいで快適な生活の創造に貢献します

熱・水・環境の分野で、環境に優しい社会、
 きれいで快適な生活の創造に貢献します

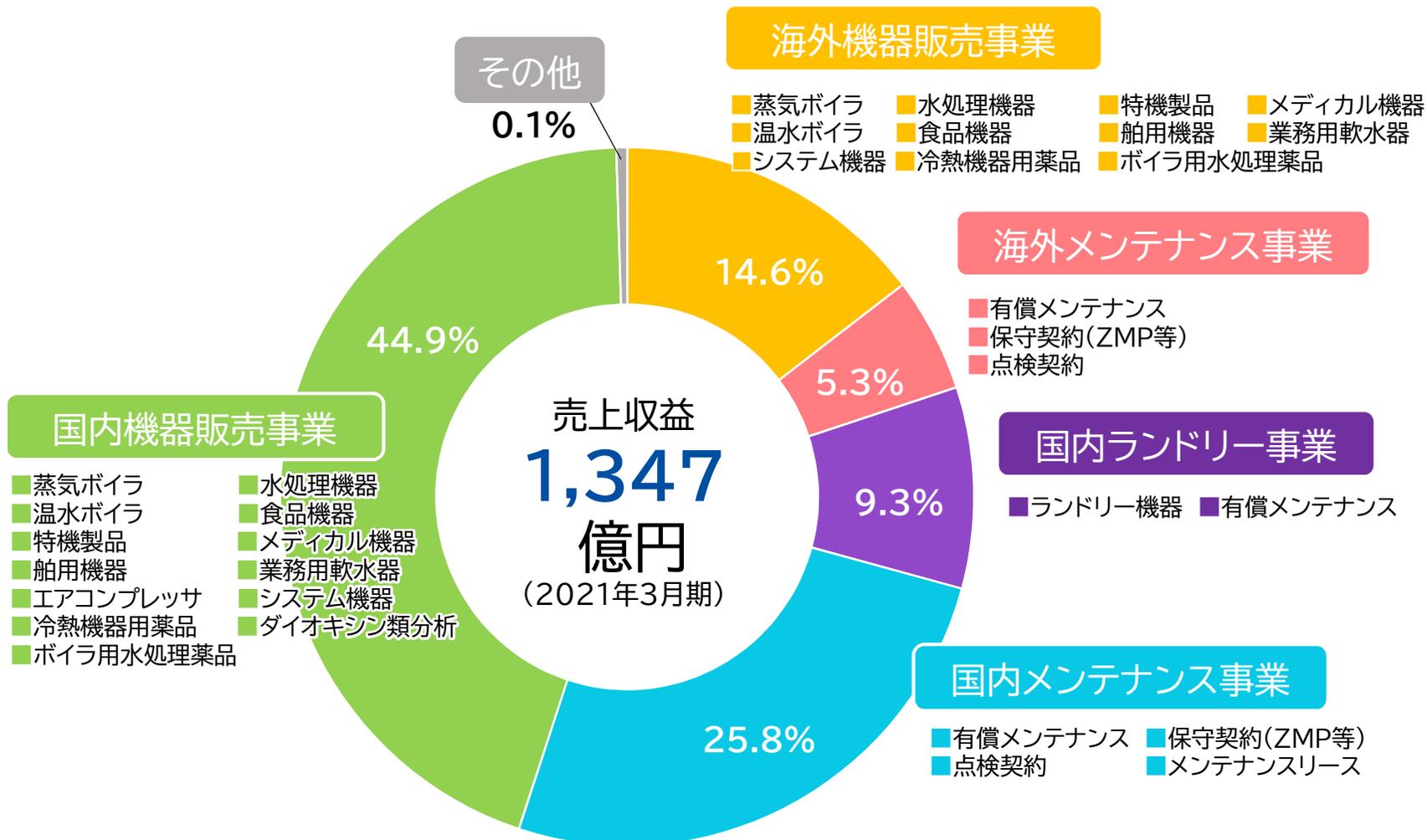
1. 創造と挑戦
2. 信頼と対話
3. 公平と公正



1. グループの総合力でグローバル化を推進する
2. テクノサービスで世界のベストパートナー企業を目指す
3. 社員の潜在能力が最大限発揮できる職場作りを目指す

『我々はわが社を最も働きがいのある、
 最も働きやすい職場にしよう』

事業内容(事業と事業構成)



ボイラとは？

- ・燃料を燃やし水を蒸気や温水にする機器
- ・産業現場はもちろん日々の暮らしのさまざまな部分で熱源として利用

用途

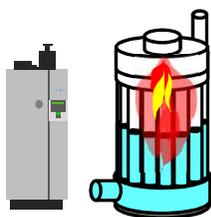
暖房、給湯、加熱、殺菌消毒等



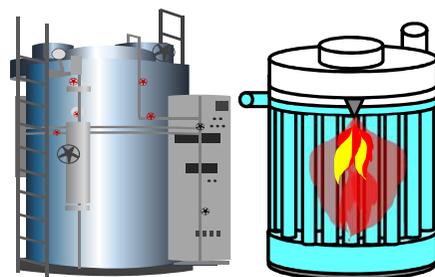
※ ボイラの原理は「やかん」と同じ

ボイラの種類

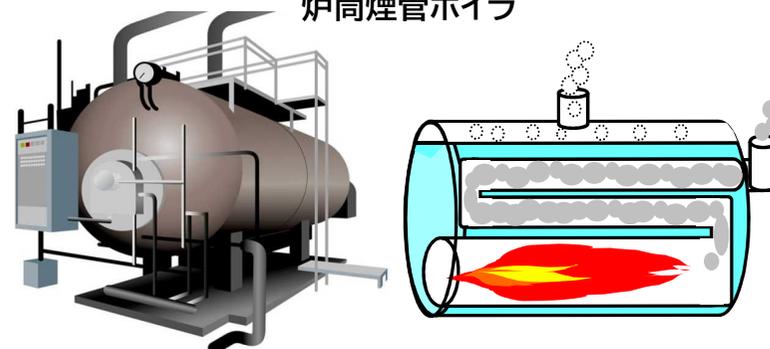
貫流ボイラ



水管ボイラ



炉筒煙管ボイラ



少ない

保有水量

多い

高い

安全性

低い

用途例



食品業



醸造業



繊維業



自動車製造業



製紙業



化学工業

ミウラのビジネスモデル

総合力を活かした現場密着型の強固なビジネスモデル



トータルソリューション提案の推進 ～お客様とのつながりを目指して～

ボイラ

アクア

食機

メディカル

熱利用

軟水

ラドナー

船用

環境

新事業

社会の中のミウラ製品



オフィスビル

遊園地

一般工場

貨物船

食品工場

病院

商業施設

住宅街や
商店街

商業用
洗濯工場

学校



数々の日本 No.1



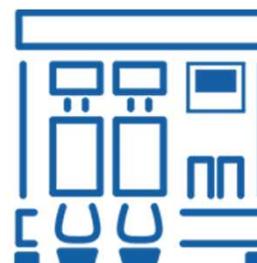
小型貫流ボイラのシェア



業務用軟水装置のシェア



真空冷却機のシェア

ダイオキシン分析
前処理装置のシェア

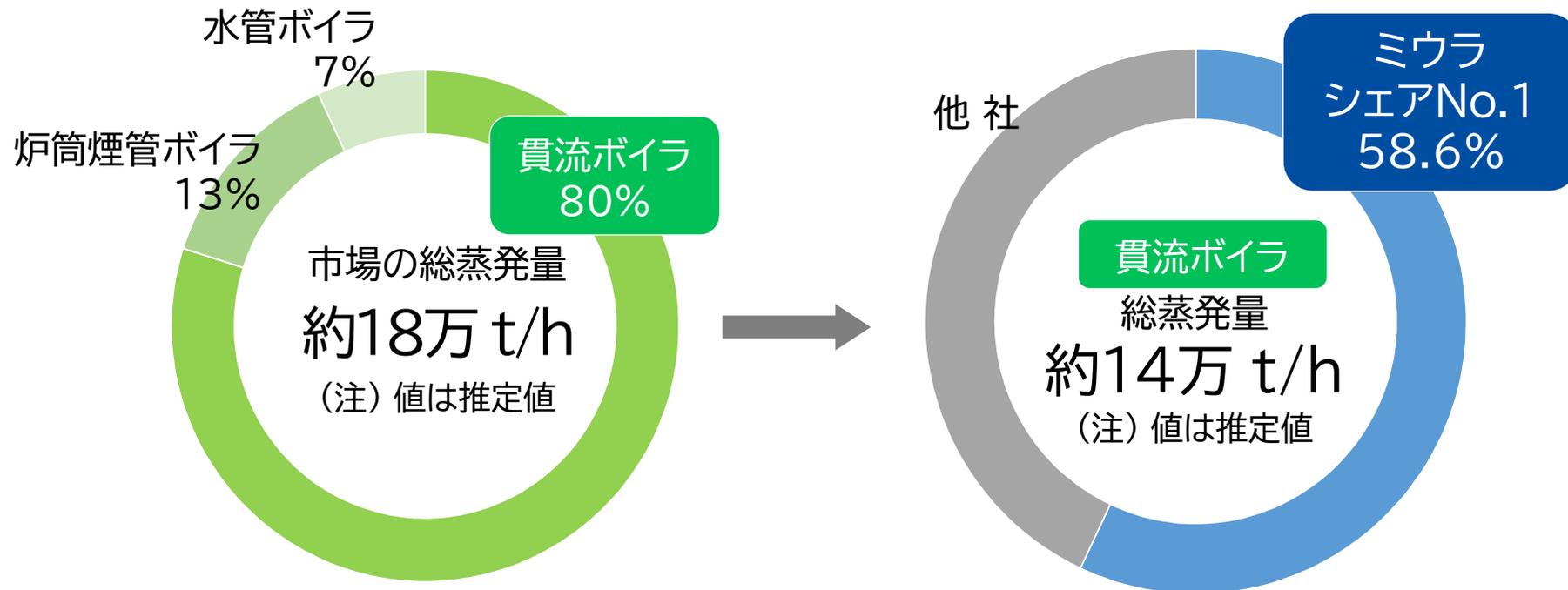
船用補助ボイラの搭載数



業務用クリーニング機器のシェア

国内の業界シェア

※発電用を除く・2021年3月自社調べ

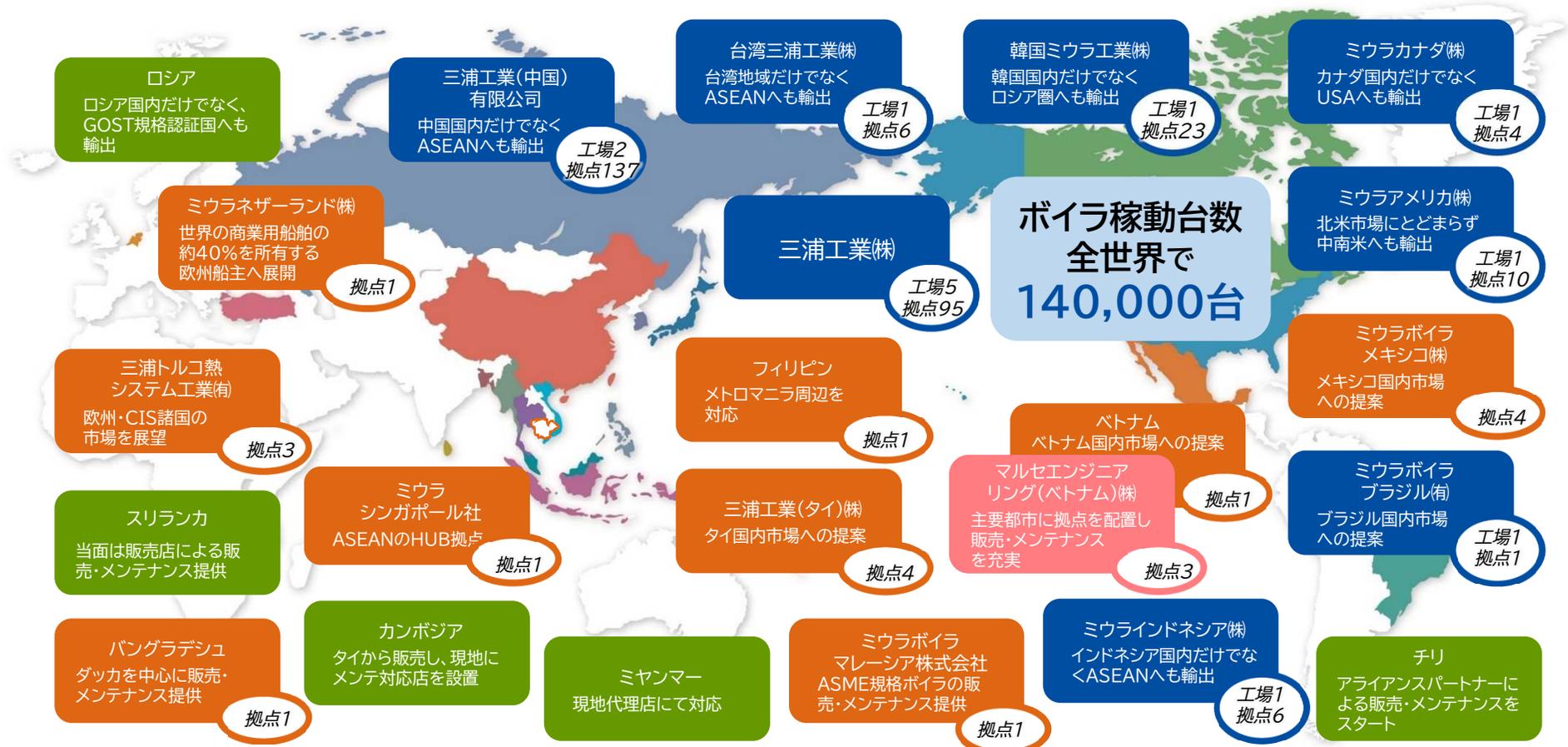


大型ボイラ市場の貫流化

- ・地域冷暖房(DHC)
- ・段ボール 製紙
- ・鉄道
- ・自家発電ユーザー(電事法ボイラ)

ミウラのグローバルネットワーク

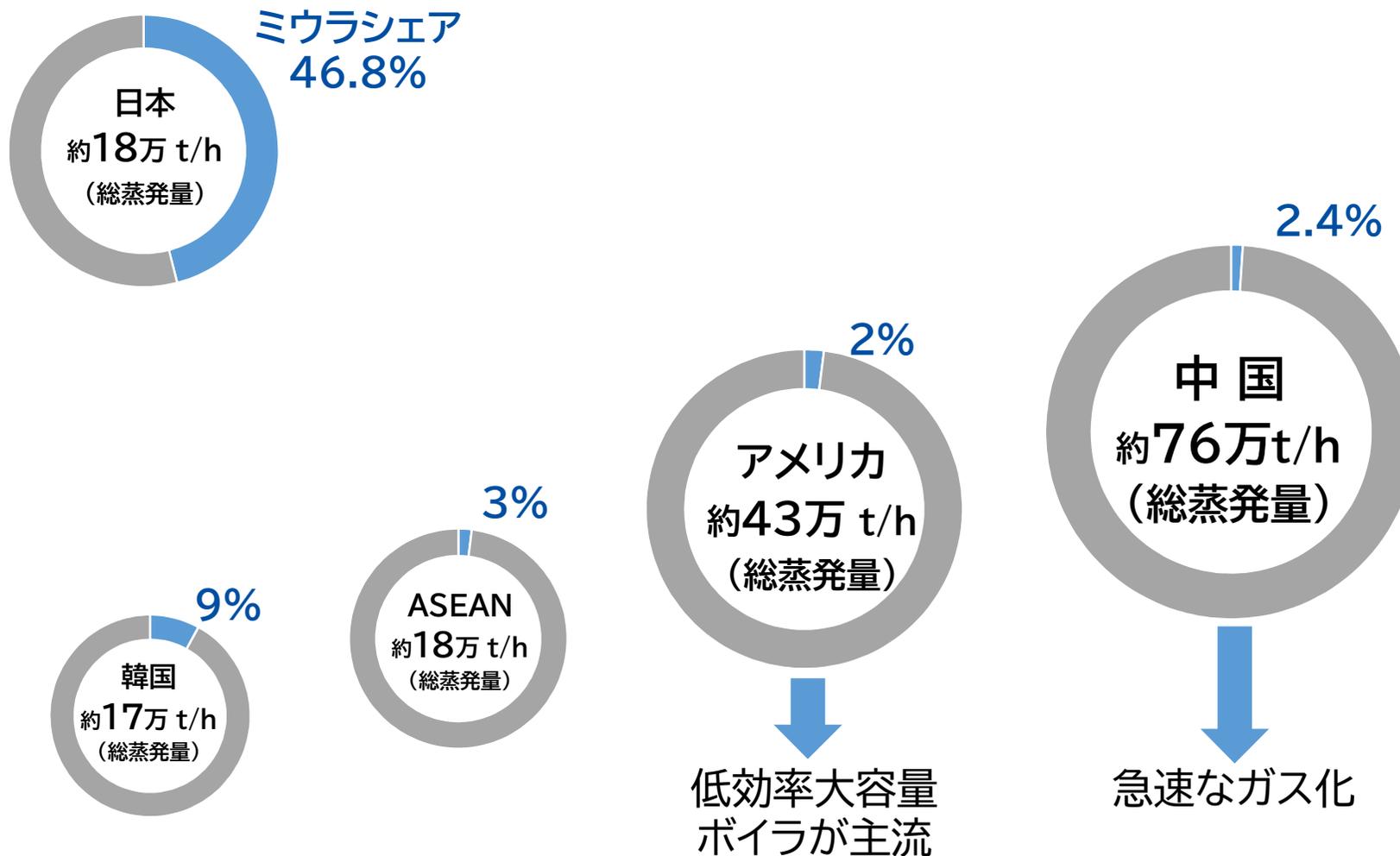
海外17社、8工場、日本含む24の国と地域に展開
各国・地域の法規制やお客ニーズに即した製品を提供



※2021年3月現在

ボイラ市場におけるミウラの市場占有率

*発電用を除く
*値は総蒸発量ベース(2021年3月自社調べ)

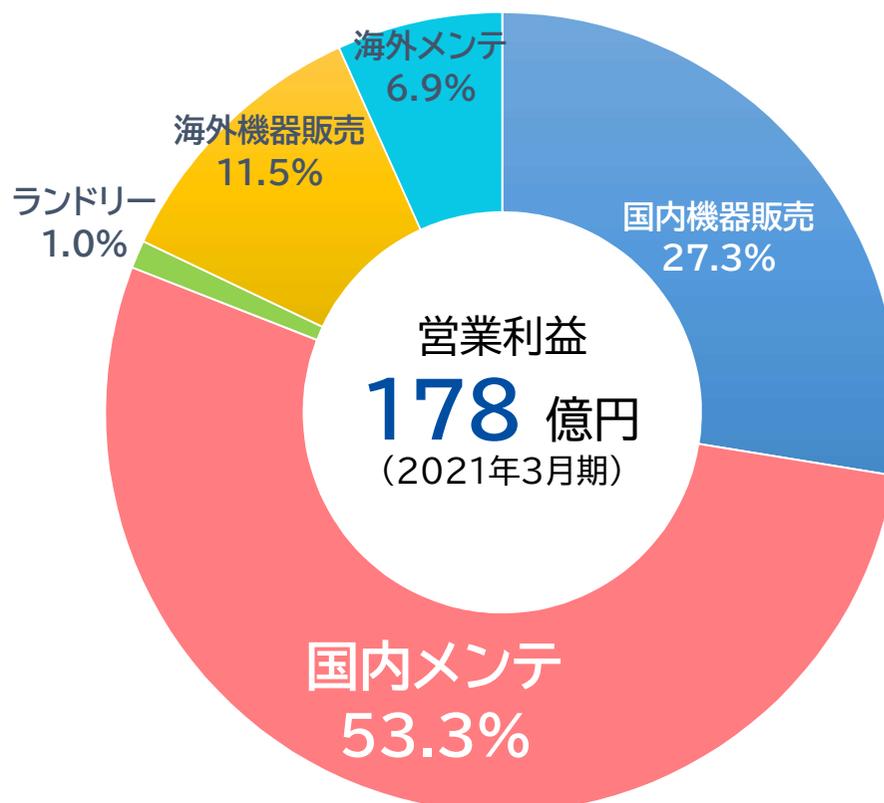
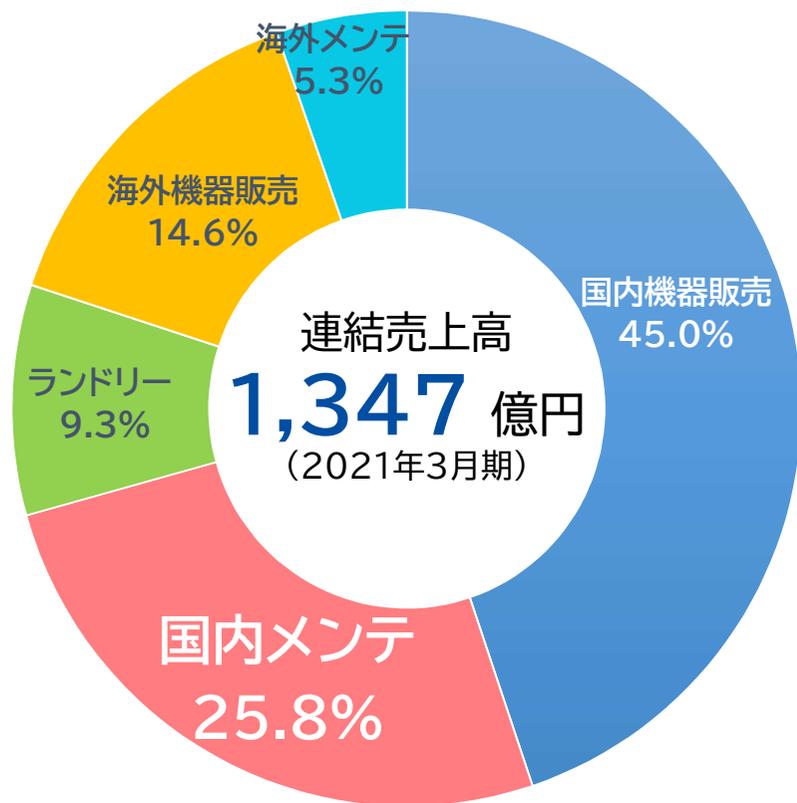


2. ミウラの強み

ミウラのメンテナンス力

2 ミウラの強み(ミウラのメンテナンス力)

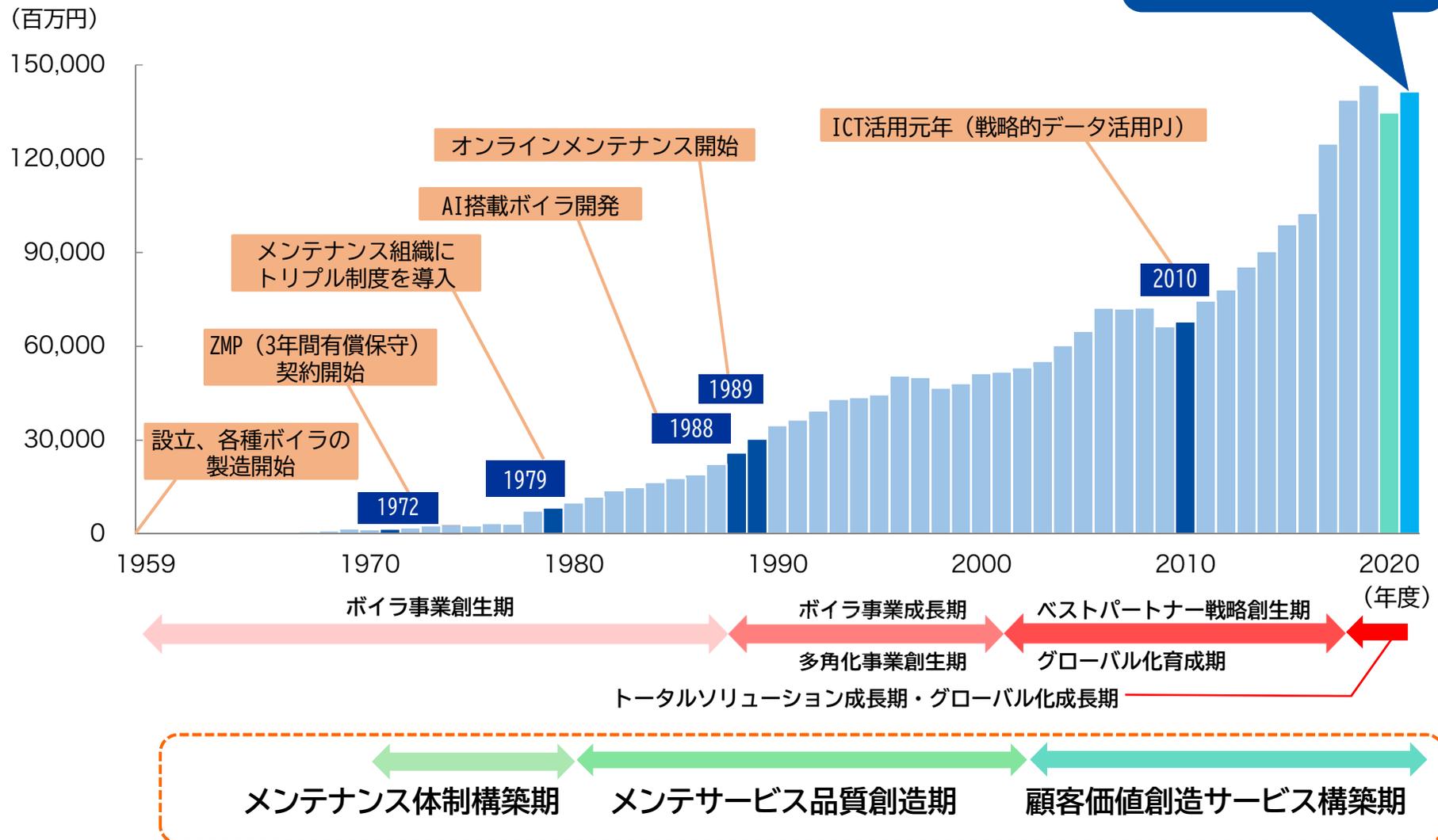
メンテナンス事業の収益性



2 ミウラの強み(ミウラのメンテナンス力)

メンテナンス活動の沿革

2021年度計画
売上1,415億円



2 ミウラの強み(ミウラのメンテナンス力)

1972年 ボイラの保守契約(ZMP)を付帯して販売

ハード産業からソフト産業への変化

メンテナンスは故障前に行うべき
ZMP契約なしで販売してはいけない



創業者:三浦 保

ボイラに保守契約を
付帯して販売

強い意志

推進



反対

従業員



- ・他社メーカーに価格で負ける
- ・メンテナンス料は修理しないと払ってもらえない
- ・前金ではもらえない

販売店

Zボイラ



ボイラを買えばサービスはタダの時代から 有料メンテナンスの時代へ
アフターサービスからビフォアサービスへメンテナンス改革

2 ミウラの強み(ミウラのメンテナンス力)

1979年メンテナンス事業部設立(トリプル制度)

メンテナンス事業は「未来産業」
《本格的なメンテナンス人財育成のスタート》

ZMP契約

人財育成

年間3回の
点検出向

必ず約束を守る

効率保証

エネルギーサービスへの進化



メンテナンス事業部設立

稼ぐ力

オーナーシップ



小集団採算制度
「3人単位チーム
のトリプル制」

メンテナンス社員1人1人に
オーナー意識を持たせる

ボイラの修理屋からボイラのお医者さんへの変身！

2 ミウラの強み(ミウラのメンテナンス力)

1988年 通信機能を搭載したボイラの開発

ZP型(機械遺産)



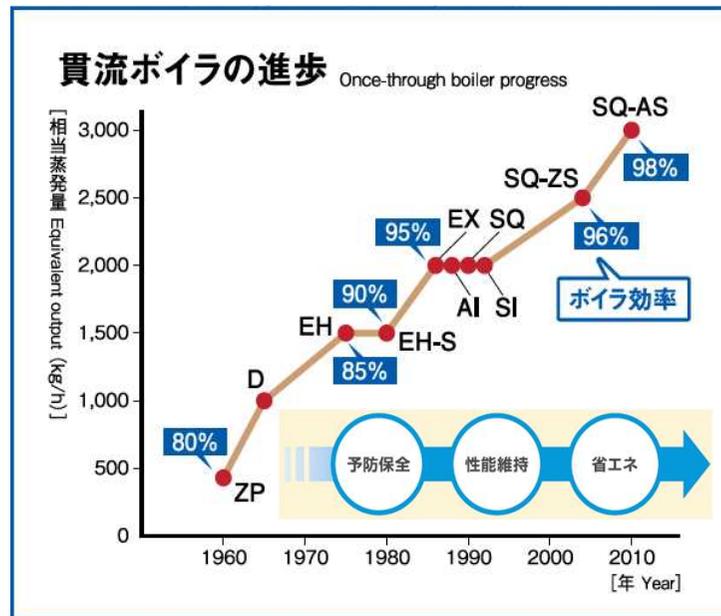
EH型



AI型(1988年)



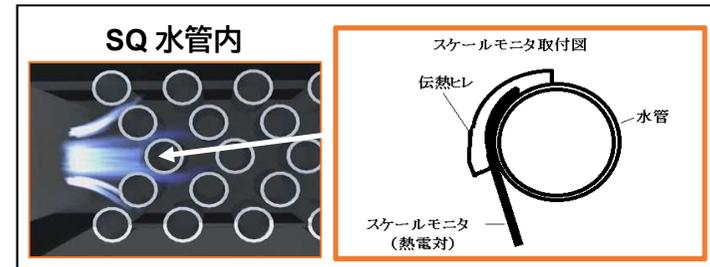
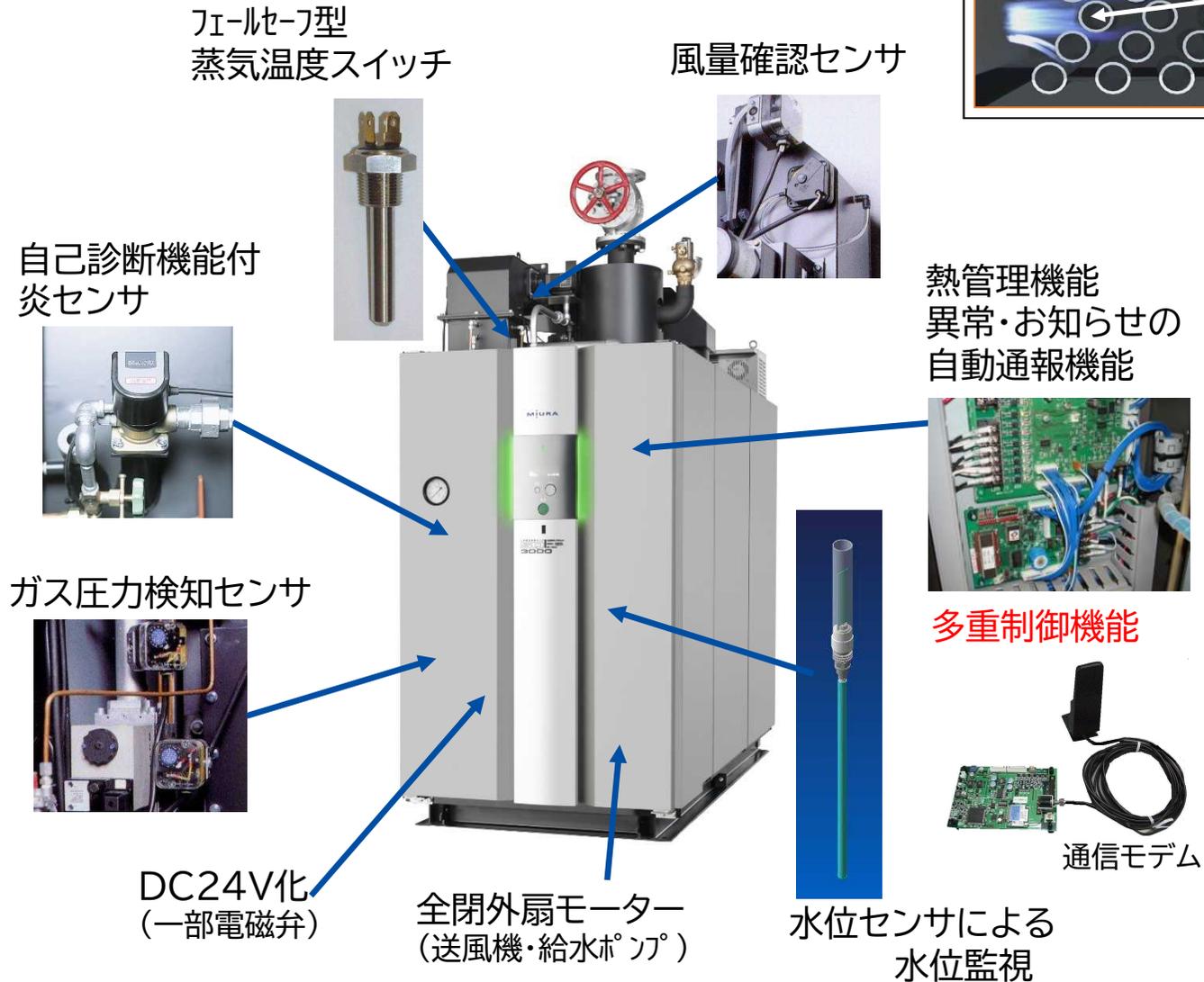
SQ-AS型(現在)



ボイラ入替えリピート率 約90%

- ◆ 高い顧客満足度と社会的評価
- ◆ お客様との持続的繋がりと善循環
- ◆ 経営の安定

ボイラに搭載されているセンシング技術



熱管理機能

- ・ボイラ効率
- ・給水量
- ・濃縮ダライザ量
- ・燃焼時間
- ・排ガス温度
- ・燃料使用量
- ・蒸発量
- ・点火回数
- ・給水温度

熱管理機能
異常・お知らせの
自動通報機能



お知らせ機能

- ・本体故障解析用
燃焼チェック
給水チェック
保全チェック
センサチェック
通信不良関係

- ・ボイラ管理用
ユーティリティチェック
周辺管理チェック
本体管理チェック

2 ミウラの強み(ミウラのメンテナンス力)

1989年 オンラインメンテナンス開始

30年以上前から「IoT」を活用したハイテクサービスで高い収益性を維持



遠隔監視で状況確認

))) 遠隔監視)))

対処方法を電話連絡
(データ収集・解析)

オンライン接続機器数
約 67,000台
※ボイラ以外の機器も含む
(2021年3月末現在)



出向



サービス拠点

- ◆ 全国 約100 拠点
- ◆ フィールドエンジニア 約1,200名
- ◆ オンライン接続機器数 67,000台以上

現場に行かない

故障の原因がわかる

事前準備出来る

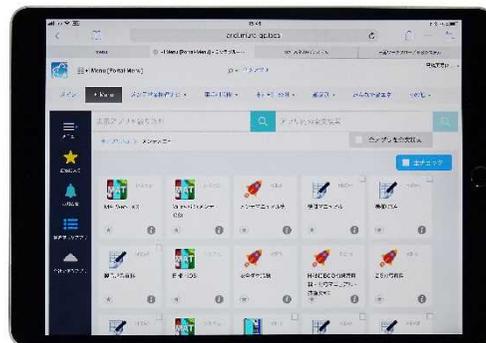
早期回復

1人当りの管理缶数の増加、効率的メンテ、
メンテナンス員を3K(危険・汚い・きつい)から解放

2 ミウラの強み(ミウラのメンテナンス力)

メンテの働き方改革(ICTの利用活用)

- ◆ レポートの電子化
タブレット端末の運用
動画マニュアル
音声入力システム



- ◆ 社内ビッグデータの活用
(BIツールの活用)



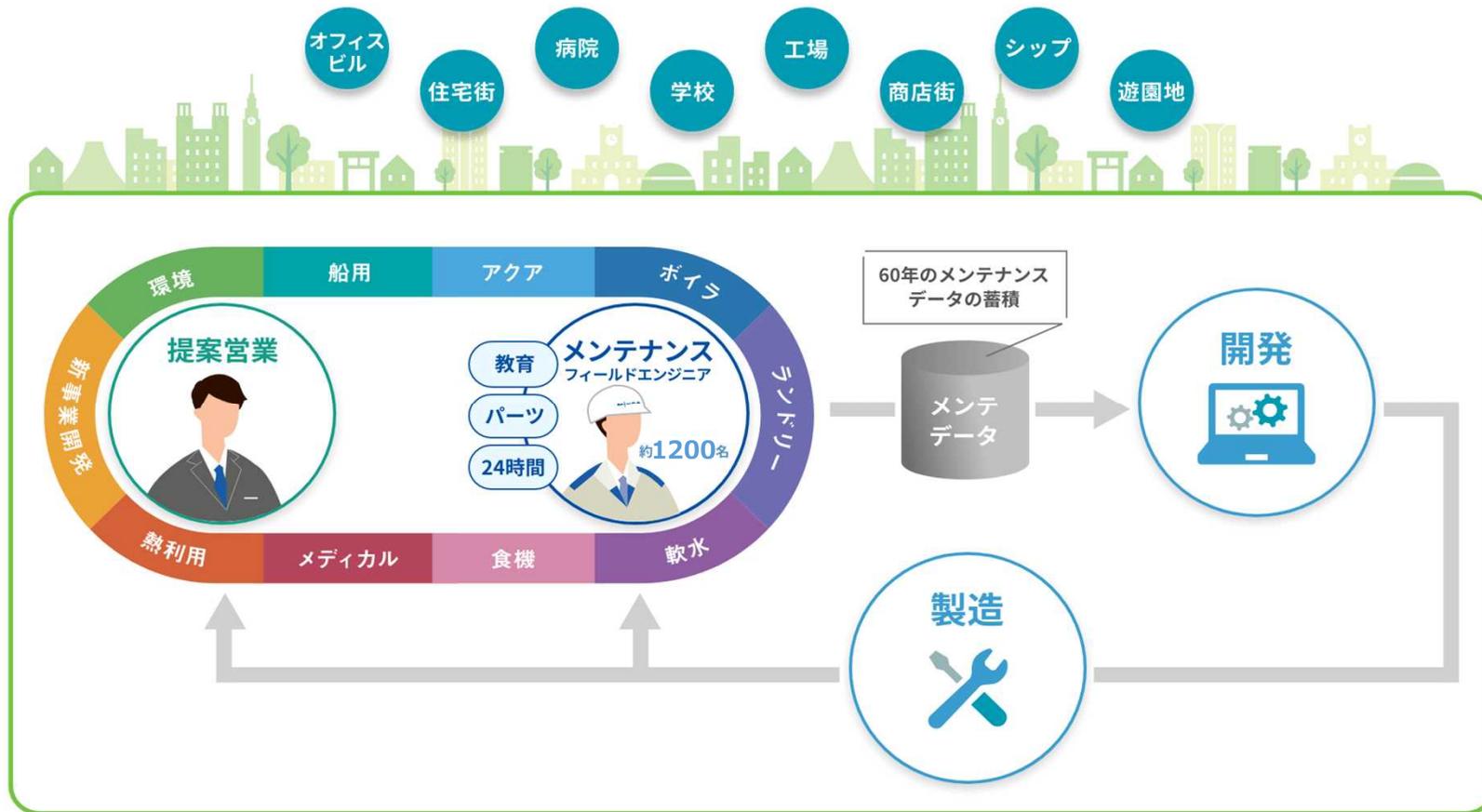
提案・メンテナンス 業務の改善・効率アップ

2 ミウラの強み(ミウラのメンテナンス力)

トータルソリューション×ワンストップメンテナンスの実現

全社で取り組む「スーパーメンテナンス会社」へ

営業・メンテナンス・開発力・製造力で、お客様が抱える問題解決に取り組めます



3. 成長戦略

カーボンニュートラルに向けた取り組み

2013 → 2030 → 2050

温室効果ガス 46%削減

カーボンニュートラル宣言

お客様課題

CO₂削減

VS

コストアップ

ミウラの
シナリオ

お客様の**既存設備の活用**と**エネルギー転換の速度**のバランスを取りながら、中長期に2段階で環境負荷低減への貢献を目指す

STAGE 1
(省エネ徹底)

燃料転換と高効率化
(油→LNG)

廃熱回収
未利用熱活用

見える化

省エネ診断

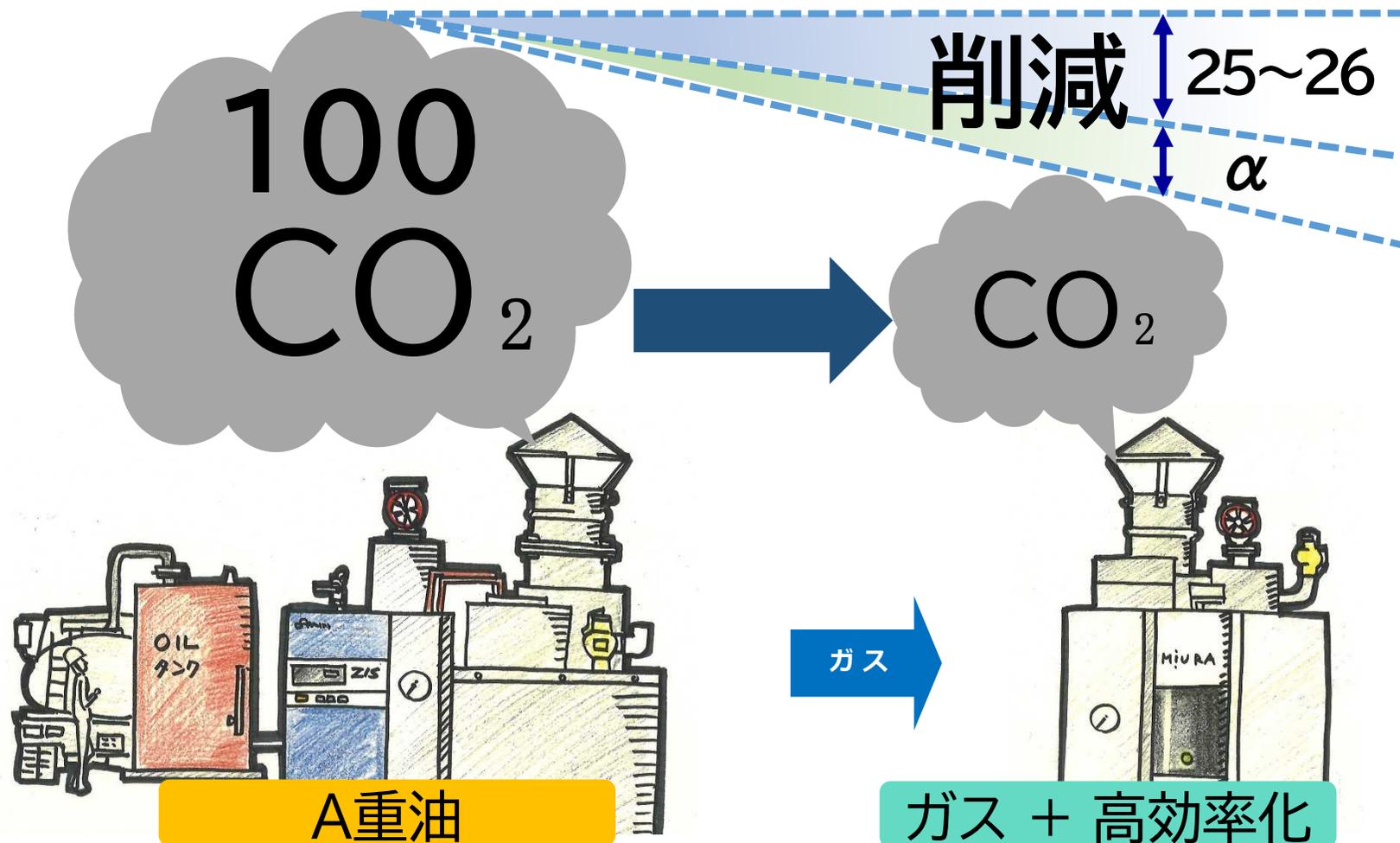
STAGE 2
(新規開発)

新燃料対応
(水素・アンモニア等)

トータルソリューション
の進化

最新ガス焼きボイラシステム

A重油→ガスへ切り替えるだけで、約25～26%のCO₂が削減され、さらにボイラ効率UPで+ α のCO₂削減と省エネが可能



エネルギー使用状況を見える化し、 運転効率改善(省エネ)のサポート

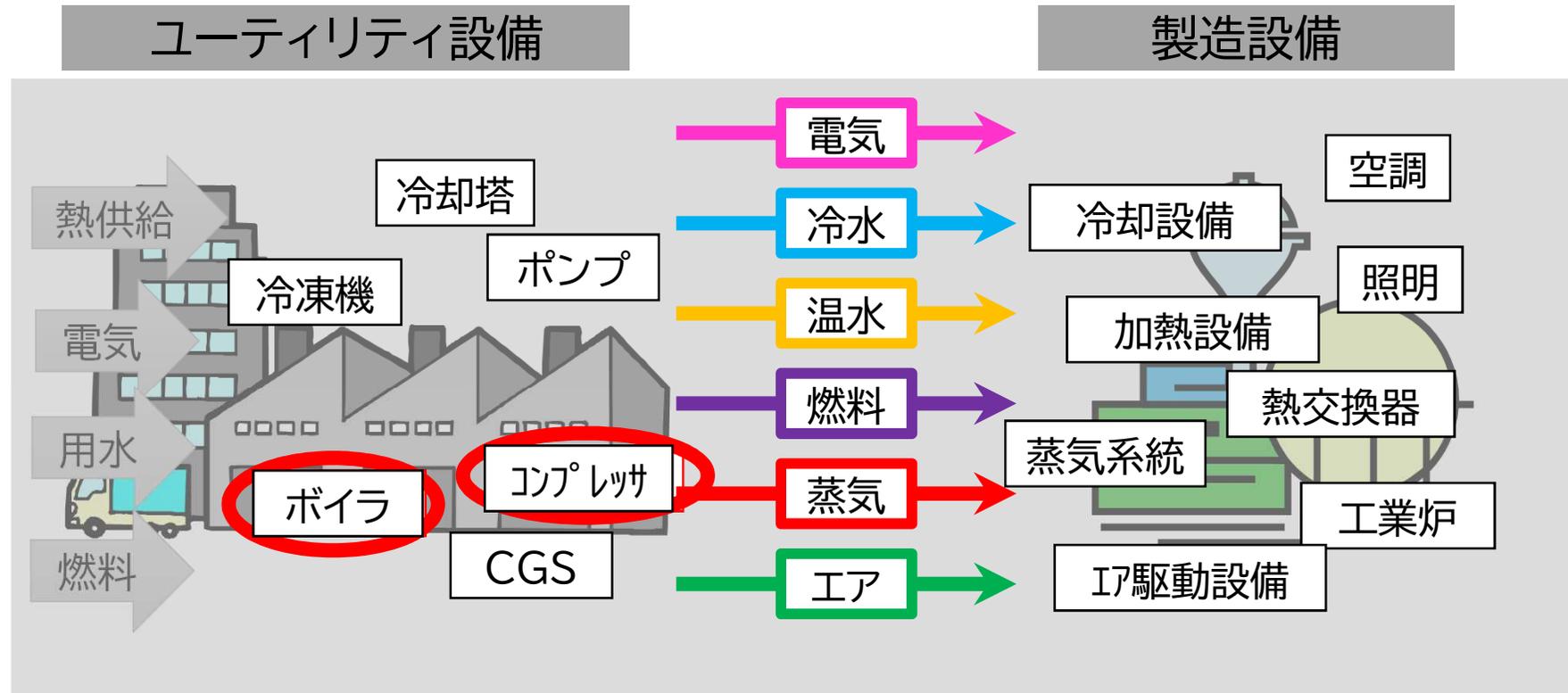
MEIS CLOUD / MEIS CLOUD+

×

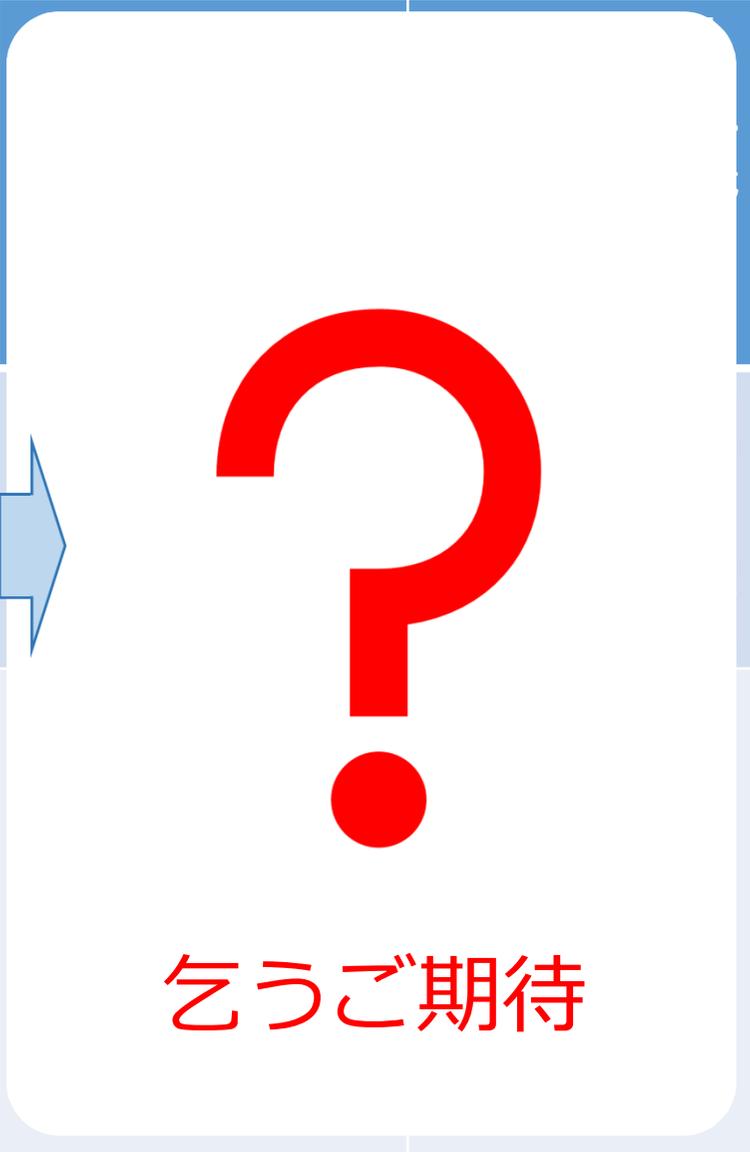
ワンストップメンテナンス



まずは現状把握



お客様の設備を単体ではなく
トータルで把握し改善を提案

燃料電池 (コージェネ機)	燃料電池 (モノジェネ機) ~東京ガス株式会社 と共同開発中~	水素燃料の 貫流蒸気ボイラ	 <p data-bbox="1456 1197 1881 1276">乞うご期待</p>
			
<p>都市ガスを燃料とし、電気と熱(温水)を生み出すコージェネ機。省エネ、CO₂削減、防災対策に貢献! 発電効率50%、総合効率90%</p>	<p>都市ガスを燃料とし、電気を生み出すモノジェネ機。 <u>世界初・発電効率65%!</u></p>	<p>燃料は水素のため、CO₂排出ゼロ! SI-2000ASは高速連続制御搭載 AI-2500高圧仕様もラインナップ。</p>	

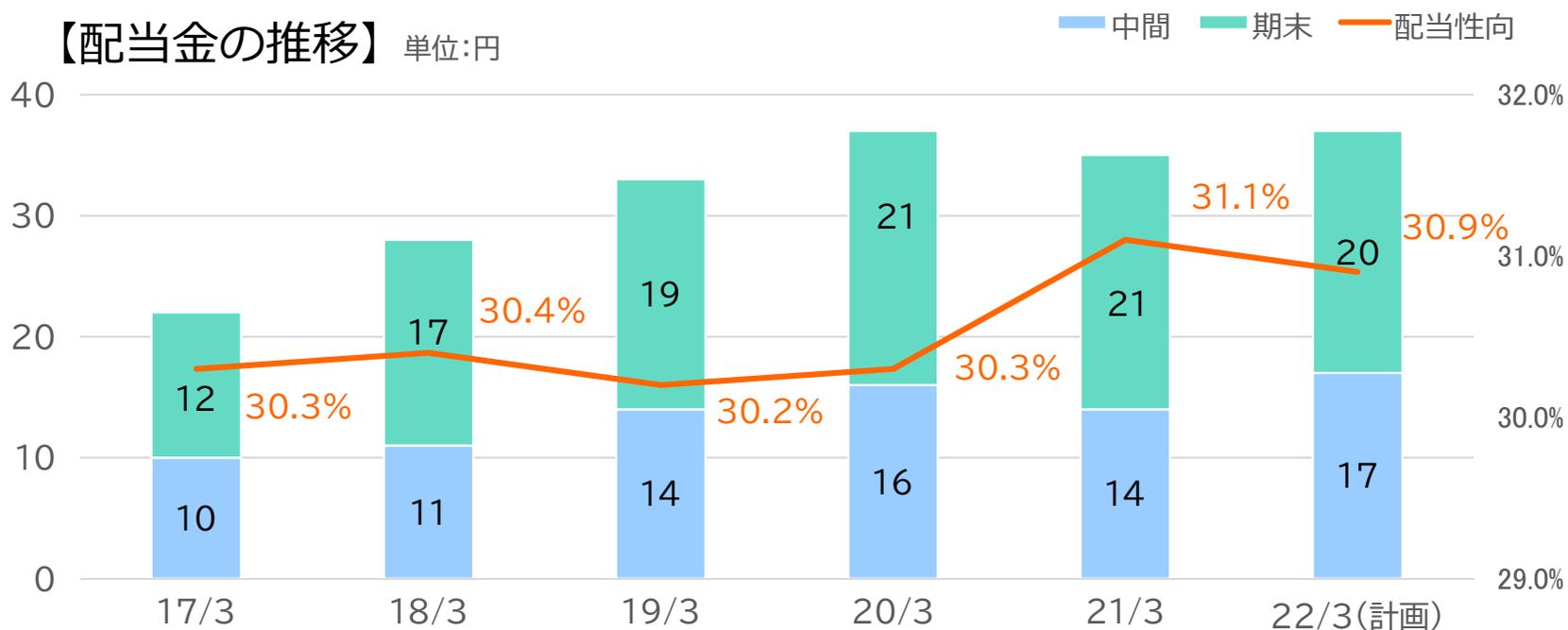
4. 株主還元

① 安定的な配当の継続

② 連結配当性向30%を目処

	20年3月期	21年3月期	22年3月期(計画)
中間	16円	14円	17円
期末	21円	21円	20円
合計	37円	35円	37円

【配当金の推移】 単位:円



ROE

8.5

9.2

10.1

10.6

9.1

—

【ご参考】※2021年3月31日時点

経営目標 ROE10%以上

発行済株式総数(自己株式除く) 112,736,979 株、自己株式数 12,554,133 株

5. 参考資料

- ・ミウラグループは、「国連グローバル・コンパクト(以下、UNGIC)」に署名し、2021年6月21日付で参加企業として登録されました
- ・UNGICは、持続可能な成長を実現するための枠組み作りに参加する自発的な取り組みです
- ・ミウラグループは、UNGICが掲げる「人権」「労働」「環境」「腐敗防止」に関わる10原則を支持し、持続可能な社会の実現に取り組んでいきます

<UNGICの10原則>

人権	原則1. 人権擁護の支持と尊重
	原則2. 人権侵害への非加担
労働	原則3. 結社の自由と団体交渉権の承認
	原則4. 強制労働の排除
	原則5. 児童労働の実効的な廃止
	原則6. 雇用と職業の差別撤廃
環境	原則7. 環境問題の予防的アプローチ
	原則8. 環境に対する責任のイニシアティブ
	原則9. 環境にやさしい技術の開発と普及
腐敗防止	原則10. 強要や贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗防止の取組み

UNGICに関する詳細につきましては、以下URLよりご覧ください。

・グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン：<https://www.ungcjin.org/>

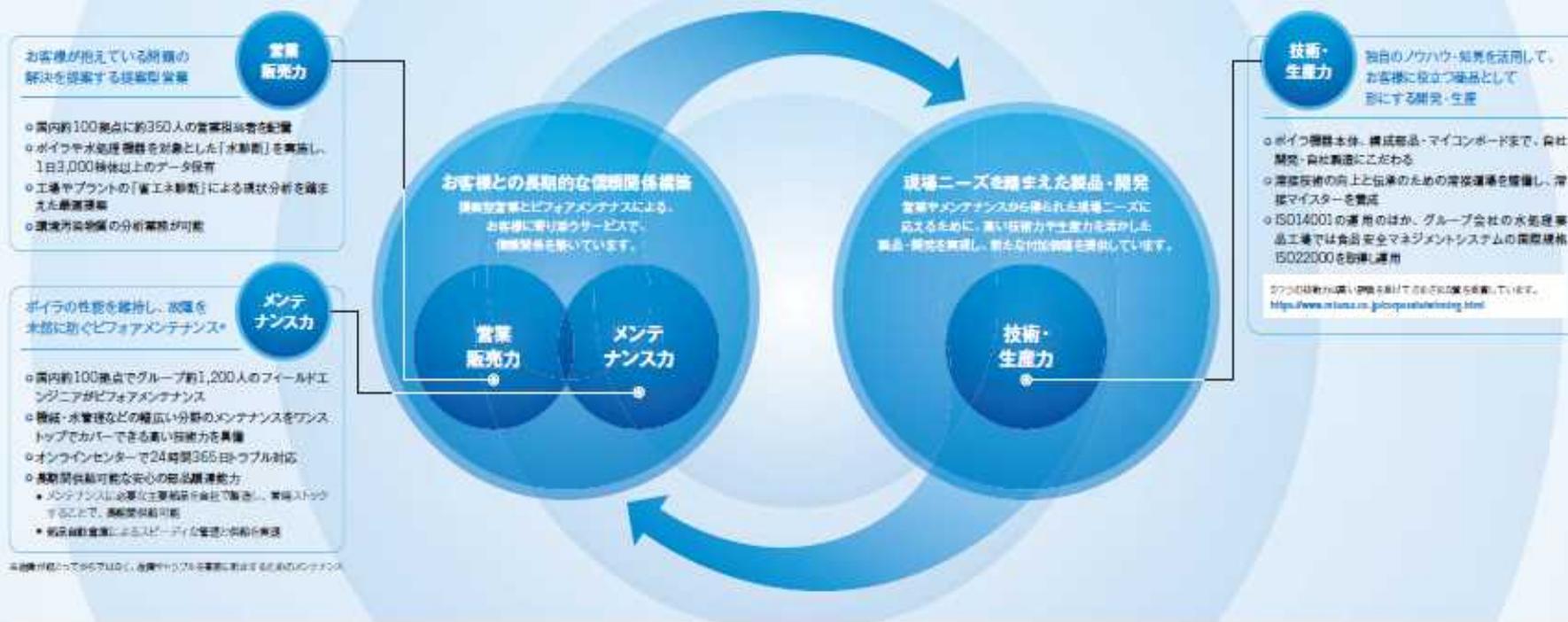
統合報告書の内容は、以下のURLよりご覧いただけます
https://www.miuraz.co.jp/ir/integrated_report.html

価値創造の源泉

“テクノサービス”を実現するミウラの総合力

「ミウラの総合力」は、お客様の抱えるさまざまな課題を解決する、ミウラグループ独自のビジネスモデルです。新しい商品を生み出す「技術・生産力」、それを販売する「営業・販売力」、販売した製品を管理する「メンテナンス力」の3つの力によって構成されています。営業販売力、メンテナンス力によって築き上げたお客様との長期的な信頼関係を

がニーズを捉えた製品・開発につながり、技術・生産力を高めています。このような有機的なサイクルにより、熱・水・環境の分野で最適なソリューションを提供しています。



その技術に、愛はあるか。

その商品に、愛はあるか。

そのサービスに、愛はあるか。

いつも自分に問いかけること。

ミウラは、そうやって生まれてくる。

そのひらめきに、愛はあるか。

